

# 八ヶ岳薪能

奉納 第三十二回



2023年8月3日(木) 午後3時半開場・午後5時開演  
身曾岐神社 能楽殿

[雨天決行・荒天中止]



磁石

野村萬齋



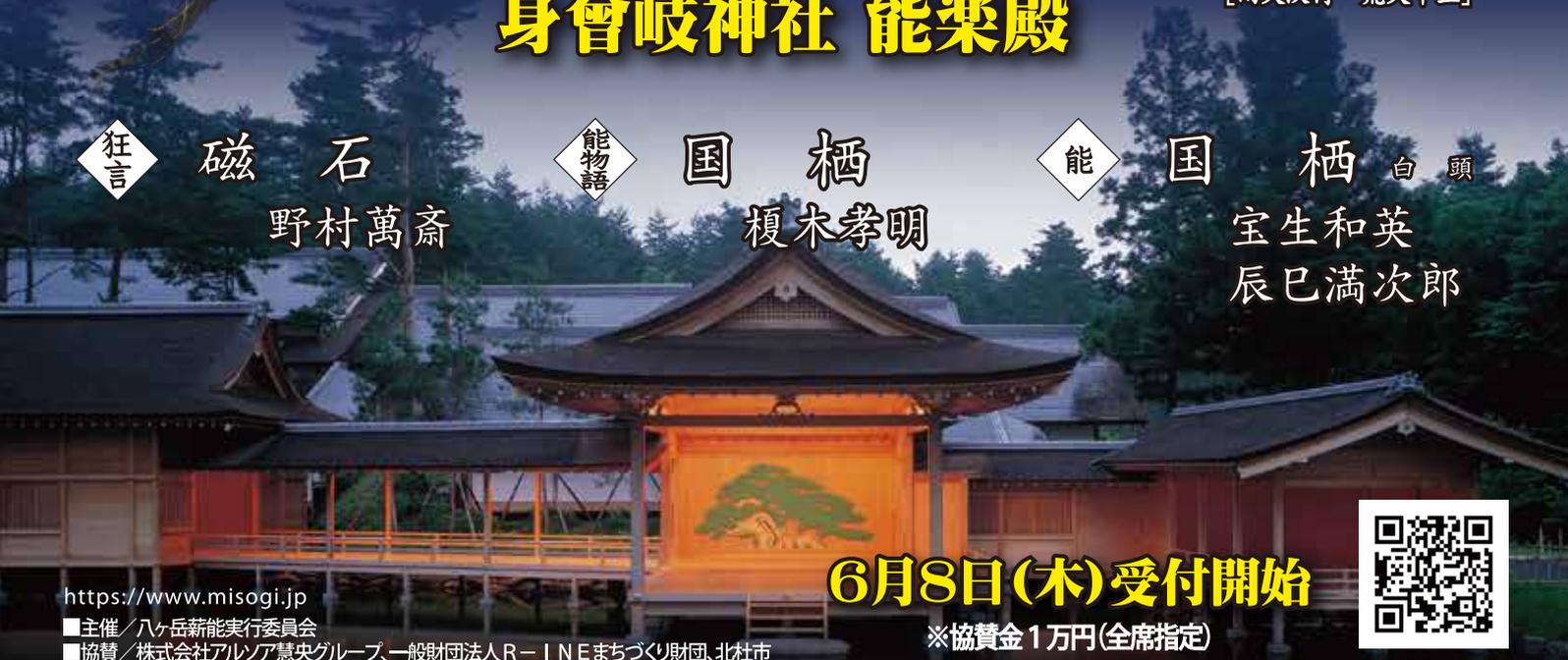
国栖

榎木孝明



国栖白頭

宝生和英  
辰巳満次郎



<https://www.misogi.jp>

■主催 / 八ヶ岳薪能実行委員会

■協賛 / 株式会社アルシア 慧央グループ、一般財団法人R-INE まちづくり財団、北杜市

■後援 / 山梨県、公益社団法人やまなし観光推進機構、北杜市、北杜市観光協会、北杜市教育委員会、北杜市商工会、山梨日日新聞社、長野日報社、テレビ山梨、エフエム富士(順不同)

6月8日(木)受付開始

※協賛金1万円(全席指定)



予約・申し込み ◆ 〒408-0041 山梨県北杜市小淵沢町上笹尾3401 身曾岐神社内 八ヶ岳薪能実行委員会 電話 03-3568-3229

神事 清祓の儀 宮司 日下部成浩

解説 能楽師 辰巳満次郎

狂言

磁石 すっぱ 野村 萬斎 田舎者 野村太一郎 宿屋 岡 聡史 後見 中村 修一

神事 篝火点火の儀 神職

能物語

国栖 語り 榎木 孝明 尺八 善養寺恵介

能

王 辰巳紫央利 天女 田崎 甫 姥 辰巳 孝弥 老人 辰巳満次郎 蔵王権現 宝生 和英

国栖 臣下 宝生 常三 大鼓 亀井 広忠 太鼓 金春惣右衛門 小鼓 大倉源次郎 笛 藤田 貴寛

白頭 興昇 館田 善博 興昇 梅村 昌功 間 追手 野村 裕基 飯田 豪

後見 佐野 登 辰巳大二郎 地謡 藤井 朝倉 大輔 高橋 憲正 川瀬 隆士 澤田 宏司 秋雅 山内 崇生

(午後七時四十分頃終演予定)

狂言 磁石

遠江の国、見附の国府(静岡県磐田市)の者が、京の都へ奉公の旅に出る。近江大津の松本へ差し掛かると、賑やかに市が開かれているので見物していた。そこへ都のすっぱ(詐欺師)が言葉巧みに近づいてきて、彼を自分の定宿(実は裏で人商人をしている宿)に売りつけようと企てます。

能物語 国栖

これから能舞台で繰り広げられる物語を、能のセリフや演出に沿って凡そ忠実に展開される物語り。いつしかその物語りから、能の世界へと自然と入って行く、特別な流れとなります。現代語においてなされる朗読劇が、能ではどの様に表現されるかを体感していただけます。

能 国栖 白頭

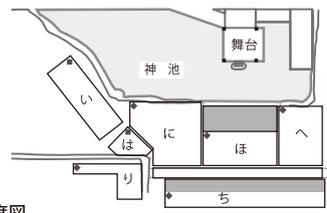
壬申の乱で伯父の大友皇子に襲われた浄見原天皇(大海人皇子)後、天武天皇は吉野川へ逃れてきた。川舟に乗った漁師の老人夫婦が我が家に近づくと、空に柵引く紫雲を見つめる。高貴な人のいる兆しと見るが、逃れてきた天皇と知ると夫婦は手厚く匿う。老人は、二、三日飲まず食わずで落ち延びた天皇に根芹と国栖魚(鮎)を献上し、その残った食事を賜ると、なんと食べ残された鮎が生きて生きとしている。吉野川に放してみようと言いつくす。

かつて神功皇后が玉嶋川で釣り上げられた鮎で新羅に勝利を収める吉兆を占った故事を語り、もし天皇が再び都におさまり安泰されるならば、この鮎も生き返るだろうという。老人が鮎を川に放つと、鮎は岩間を生き生きと泳いだ。(鮎の段)

◆一四時より 教養 能のいろは

【御注意】

- 客席は野外です。
- やむを得ず出演者、演目等の変更がある場合はご了解下さい。
- 演能中の写真撮影・録音・録画等はかたくお断り申し上げます。
- 客席でのお食事はご遠慮下さい。
- 荒天中止以外の理由によるキャンセル・払い戻しはお受けしません。
- 未就学児の入場はご遠慮下さい。



座席図

ししゃく

すっぱと宿の主人が密約しているところを知った田舎者は、先回りして宿から金を受け取り逃げ去るが、怒りをなして追いかけてきたすっぱに対して「我は磁石の精だ」と言い出す。田舎者と都人の駆け引き・対峙が見どころ。

し

この物語りは、解説ではなく、もはや能の一部と言う感覚として融合され、「お調へ」という能が始まる囃子の音の儀式に繋がります。語り手は俳優の榎木孝明氏、尺八は紫綬褒章受章、琴古流尺八奏者善養寺恵介氏が勤めます。脚本作は辰巳満次郎。

し

しかし喜んだのも束の間、天皇に追手が迫り来る。老人は落ち着き払って天皇を舟の下に隠し、追手と対峙する。舟の中を探ろうと迫る追手に、惚けたふりをしていた老人は怒りをなし、この辺りは皆親族であり、お前達など忽ちに討ち留めようと威嚇すればその勢いに圧倒され追手は立ち去った。老人の行いに感謝する天皇の言葉に、夫婦は涙する。やがて夜が更ければ、空から妙なる音楽が聞こえると思うと夫婦の姿は消え、天女が現れて舞を舞うと、続いて蔵王権現も出現し、勇壮な舞で来たる天武天皇(浄見原天皇)の御代を護ると寿ぐ。

今回は「白頭」の特殊演出が付き、後シテの頭は赤頭ではなく白頭(しろがしら)になり、また、面は通常の「天飛出」から「不動」に変わる。蔵王権現の風格が際立つ扮装と所作になり、重厚さが増す。(宝生流 辰巳満次郎)

◆二六時二〇分より 奉納 和光太鼓

予約のお申し込み  
八ヶ岳薪能実行委員会  
**03-3568-3229**  
6月8日受付開始 受付時間 午前10時~午後5時  
<https://www.misogi.jp/tkgnou2023/>  
ローソンチケットLコード: 35539  
チケットぴあPコード: 519-298

身曾岐神社 能楽殿

山梨県北杜市小淵沢町上笹尾3401  
電話: 0551-36-3000